

長土地区
 から こんにちは
 今月の 気になる人

大杉支所管内より

趣味を楽しんでいます

原 敬子さん(84)

プランターでの野菜作りや裁縫、俳句など多趣味な敬子さん。句歴はなんと、25年！長年俳句に親しみ、句を詠まれています。また、手先が器用で、使わなくなった着物をほどいてリメイク。唯一無二の洋服や小物に仕上げられています。

『こうぐり』の愛読者でもあり、毎月届く広報誌は隅々までチェック。気になる商品を『とさのさと』まで買いに行くこともあるそうです。誌面を読んで、「農業者の皆さんの笑顔に癒されている」と地域で活躍する方々を応援してくれています。

「健康に気を付けて、今の趣味を元気に続けていきたい」と笑顔の敬子さん。いつまでもお元気で、今後も『こうぐり』をよろしくお願ひします!!



南国中央支所管内より

かけがえのない大切な家族

飼い主：横山 久男さん

ペット：クロくん(3歳)

ベギニーズとチワワのミックス犬のクロくん。真っ黒の毛に胸元の白い毛がチャームポイントです。

取材対応してくれた息子の誠さんは、「寂しがり屋な性格」とクロくんを優しい眼差しで見つめます。普段は、室内でのんびり過ごすことが多いようですが、朝晩2回の散歩が楽しみで仕方ないクロくん。散歩の時間が近づくと、早く行きたくて飛びついて猛アピールします。時々、散歩に連れて行ってくれる高校生のお孫さんとの散歩は一味違い、全力疾走！いっぱい走って疲れるけど、刺激的で喜んでいるそうです。

ご家族のみんなに可愛がられ、癒しを与えているクロくん。横山家にとって、かけがえのない家族の一員です。



長岡支所管内より

天真爛漫！元気な兄弟

上田 隆ノ介くん(6)

恭ノ介くん(4)

父：隆一さん(36)

ニコッと笑った笑顔が素敵な隆ノ介くんと恭ノ介くん。兄の隆ノ介くんは、春から小学生！ナイキのランドセルで小学校に通うことを楽しみにしています。弟の恭ノ介くんは、負けず嫌いで何事にも熱心に取り組む性格。2人とも人懐っこく、天真爛漫で元気いっぱいです。

鬼滅の刃に夢中の2人。隆ノ介くんの好きなキャラクターは、炭次郎と煉獄です。「柱は全員好き」と笑顔の恭ノ介くん。特に水柱と風柱が好きだそうです。お母さん手作りの手さげかばんなど、たくさん鬼滅グッズを見せてくれました。

ご家族は、「今しかできないことを楽しんでほしい」と2人を温かく見守っています。兄弟仲良くのびのび成長してね！



大篠支所管内より

変化を見逃さないように
 配慮しています

田島 誠さん(44)

南国市で畜産経営と水稻を栽培している誠さんは、就農22年目。「悩んだ時期もあったけど、小さい頃から意識はあった」と高校、専門学校で畜産を学びました。卒業後2年間、北海道の牧場で働き、帰高後に就農しました。

7年程前から、繁殖から肥育までの一貫経営に移行し、現在3人の従業員と黒毛和種を中心に約170頭を飼育。水稻はヒノヒカリとよさこい美人を栽培しています。

昨年11月に開催された『JA高知県肉枝共励会』の黒毛和種の部で優秀賞を受賞し、「日々の積み重ねが結果に出るとやりがいがある」と笑顔の誠さん。今後は、増頭と作付面積の拡大が目標。小さな変化を見逃がさず、365日命と向き合っています。



その笑顔に癒されています!!

山中 湊登くん(1)

父：雄真さん(22) 母：紗奈さん(21)

好奇心旺盛で何にでもチャレンジしようとする活発な湊登くん。人見知りもないそうで、お母さんと支所に来られた時は、満面の笑みを向けてくれます。ニコッと笑った顔が愛らしく、湊登くんの笑顔に職員一同癒されています。

ご両親の影響もあり、車と動物が大好き！取材に伺った際にも、カッコいい車の本を持ってきて「みてみて〜」とアピール。チャーミングな一面もあります。

「自分のしたいことをして、今のまま元気でたくさんの人に愛されて育ってほしい」とご両親。湊登くんの健やかな成長を願っています。これからもたくさんの人に癒しを与え、元気にすくすく大きくなってね!

大杉支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



乗馬体験をする園児ら

1 れいほく地域 原木シイタケ 乗馬体験

J A高知県青壮年部れいほく本部本山支部は1月21日、本山町立本山保育所で原木シイタケの乗馬体験を開きました。今年で31回目を迎えたこの取組みは、地元の食材や農業について知ってもらうことが目的。生産者や部員、J A職員ら8人が参加し、年長児20人と一緒に作業を行いました。

園児は、金つちを使ってシイタケ、クヌギの原木約150本の乗馬体験。園児も原木一本を持ち帰り、自宅で育て収穫を待ちます。同町で40年以上シイタケを栽培している畠山日出夫さんによると、直射日光が当たらず、十分に雨が当たる風通しの良い場所が保管すると、再来年には収穫できるそうです。

例年であれば、畠山さんの圃場で乗馬と収穫体験、昼食を食べ交流をしていましたが、今年にはコロナ禍のため規模を縮小して実施されました。同支部の秋山裕二支部長は、「収穫を迎える頃に今日の体験を思い出して、地域で栽培されている農産物を身近に感じてくれたら嬉しい」と話しました。



調理のポイントを習う参加者ら

2 南国市地域 地元食材を使った レシピを紹介

J A高知県南国市園芸女性部は1月21日、南国市の給食センターで同市栄養士部会を対象に料理講習会を開きました。この取組みは、郷土を愛する心を育てることが目的に、南国市の農産物を使った給食を提供したいと、同女性部に依頼されたことがきっかけ。同女性部の三役が講師を務め、参加した7人の部会員とともに調理を行いました。

感染拡大防止対策を講じて行われた講習会では、同市で生産されたシシトウ、大葉、ピーマン、ニラの4品目を使用したレシピを紹介。参加者は、手順やポイントを教わりながら、「シシトウの甘辛炒め」「ピーマンの塩昆布和え」「ニラのピーナッツ和え」など計6品を2時間ほどで作りました。

同女性部の隅田り子部長は、「給食で取り入れてもらい、地元の野菜を食べる習慣につながれば嬉しい」と今後を期待します。参加者の石川利恵さんは、「調理員さんと相談しながら、学校給食で提供できるようにアレンジを加えていきたい」と意気込みを語りました。

3 れいほく地域 学生が開発・ 研究した商品をプレゼン



開発した商品をプレゼンする学生

高知県立嶺北高等学校は1月21日、同校農業コースの学生が開発した商品の開発発表会を開きました。県やJ A職員ら7人が参加し、学生らの真剣なプレゼンに耳を傾けました。

発表会では、学生が3つのグループに分かれて発表した自慢の商品をプレゼン。参加者からは、「コンセプトや販売戦略、ターゲット等学生ならではの新しい意見が聞けた」などの声が聞かれ、学習の成果を発表する場となりました。

同校の農業コースでは、授業の一環で地元食材を使った商品の研究・開発を行っています。発表した3商品の販売に向けて、今後さらに検討を進めていくそうです。

4 南国市地域 お祓いで祈願



事業の繁栄と安全を祈願する部員ら

J A高知県土長地区南国市園芸部は1月11日、南国中央集出荷場と南国南部集出荷場で新年のお祓いを受けました。このお祓いは、事業の繁栄と今年1年の園芸品出荷の無事を祈願することを目的に、新年を迎えたこの時期に毎年実施されている恒例の行事です。

今年も、園芸部役員とJ A役員ら15人が参加し、神事によるお祓いが執り行われました。参加者からは、1年間事故なく、園芸品の売り上げが向上するように全員で祈願しました。

5 れいほく地域 嶺北家畜市場で 今年初の競り開催



72頭が取引された今年初のせり

嶺北畜産協会は1月25日、土佐町の嶺北家畜市場で今年初の定例市を開き、子牛65頭、成牛7頭が取引されました。子牛の平均取引価格は、褐色和種が46万円、黒毛和種が60万円。子牛全体では、49万円でした。最高値は黒毛和種の去勢子牛（日齢265日、体重311kg）が、74万円の値をつけました。

コロナ禍などが懸念される中で迎えた初せり。同協会の西村行雄理事長は、「コロナの影響が心配されたが、取引価格に影響はなく順調なスタートとなった。経済の先行きが不安定な状態は続いているが、明るい兆しが見える取引になった」と期待します。今回は、3月25日に開かれます。

6 南国市地域 J A女性部・青壮年部と J A役職員との対話集会



活発な意見が出た対話集会

J A高知県女性部南国市地区は1月13日、青壮年部とJ A役職員との対話集会を開きました。女性部と青壮年部の役員、J A役職員ら26人が参加し、「南国市を活性化させる為にどうしたらいいか？」をテーマに協議を行いました。

参加者からは、部員の高齢化やコロナ禍における支部活動の現状について触れ、今後の課題やJ Aへの要望等を提示。女性部、青壮年部、J Aが協力して地域を盛り上げていく重要性について全体で共有しました。今後は、活動の充実を図るとともに、「地域内外に活動を発信・PRしていくことで、新規部員の加入に繋げていきたい」と決意を新たにしました。

えいのう〜



れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

果菜類の定植、定植後の管理について

春になり、夏秋野菜の定植が始まる季節になりました。本作に繋がる定植前の準備を計画的に行いましょう。

○定植前の準備

畝立て整地後、定植の2〜3日前までに植え穴を掘り、十分にかん水しておきます。

○定植

定植用の苗は、第一番花が咲く直前の若苗を用いて定植します。苗を定植する日は、なるべく風のない晴れた日を選びます。また、春の早い時期に定植する場合は、遅霜に注意し、トンネル又はマルチで地温を確保します。

植え穴に苗を置き、土をかぶせたら軽く押さえ込みます。このとき根鉢が畦よりやや高くなるよう、浅めに植えることがポイントです。深植えや土のかけ過ぎは病気の発症に繋がります。



○定植後のかん水管理

定植後10日ほどで根が張り出してくるため、発根を促進するために活着（わき芽が伸びてくる状態）するまでは、こまめにかん水を行います。また、かん水は午前中に行いましょう。活着後は、生育状況、天候に応じてかん水量やかん水間隔を調整します。

GAP 掲示板 vol.24

番外編 れいほく地域

「高知県GAP第三者確認制度登録」

令和3年11月9日にJA高知県れいほく園芸部のシシトウ・カラーピーマン・米ナス・土佐甘とう・ミニトマトの5部会で、高知県GAP第三者確認制度の現地調査を受けました。施用した肥料、毎日の収穫量の記録、農薬の保管方法等約70項目について現地を確認し、指摘があった事項については正報告を行いました。昨年は3部会での登録でしたが、今年は土佐甘とう・ミニトマトの2部会を追加し、令和3年12月24日に登録の更新ができました。

今後も安心安全な農業を实践するため、引き続きGAPに取り組んでいきます。



南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

088186312415

施設野菜の腐敗事故対策について

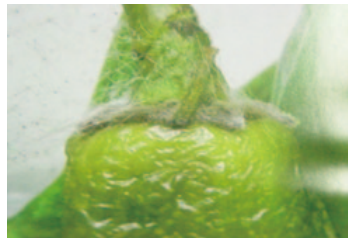
春になると、日照時間が長くなりハウス内の温度湿度が上昇します。このことにより腐敗果を引き起こす原因となるリゾプス菌が発生しやすくなります。

○腐敗果の特徴

収穫後の果実に発生します。果柄の切り口から水浸状に腐敗し、その後、がく・果肉の順に腐敗しますが、果皮は腐敗しません。表面はクモの巣状のカビに覆われ、そこに多数の黒粉を生じます。

○病原菌（リゾプス菌）の特徴

糸状菌の一種で接合菌類に属します。生育適温は20〜30℃で、最適温度は25℃前後です。腐生性が強く、圃場内の植物残さなどで増殖し、そこに生じた胞子の飛散によって果柄の切り口から感染・発病します。発病適温は25〜30℃、湿度100%で発病しやすく、春先の降雨後収穫した果実での発生が多く見られます。病状の進展がきわめて早いので、発病したものの治療は困難です。植物体は軟弱徒長を避け、果実やイモは表面を傷つけないとともに、ヘタや皮目などからも侵入するので、発病したものは早期に除去する必要があります。



リゾプス菌におかされたシシトウの果

○対策

- ・ 整枝・摘葉により、通気性・採光を確保しましょう。
- ・ 収穫後の果実は、直ちにハウス外の日陰に出して果柄を乾かしましょう。
- ・ 多湿状態をつくらぬために換気を積極的にを行い、過灌水に注意しましょう。
- ・ 摘果した不良果・整枝屑の枝葉・おやつ果皮等は、菌の温床になるのでこまめに圃場外に持ち出すようにしましょう。
- ・ 爪採りをしないように丁寧に収穫をしましょう。
- ・ 普段から樹勢を弱らせないようにしましょう。
- ・ 夕方からの閉めこみ後の温度上昇に注意しましょう。



南国営農経済センター 営農指導課 小松 寛明

トンネルオクラの換気について

◆換気のポイント

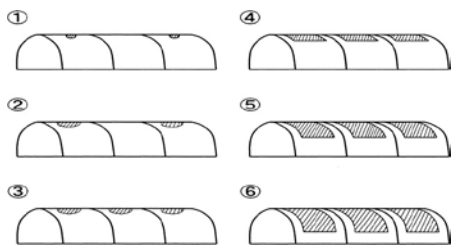
オクラの生育適温は25℃〜30℃と言われます。一方でトンネル内の温度はそれを大きく上回る事があります。高温状態が長いと、軟弱徒長や着花遅れの原因となるので、換気を遅れさせないよう注意しましょう。

換気開始のタイミングは本葉が15枚程度、もしくは寒の戻りの心配がなくなつた頃を目安に行います。換気を行う時は少しずつ行います。天候を見ながら、3〜5日間隔を目安に換気穴を大きくし、徐々に外気に慣らしてください。

生育のムラ等で播き直した場合は、生育の良いところから穴を開けるようにします。また、はじめから大きな穴を開けてしまうと、急激な乾燥によって、葉が脱水症状になってしまい、枯れ落ちてしまふことがありますので注意しましょう。

◆トンネル換気の手法(例)

- ①ダンボールの間隔を二つとばしに直径8〜12cm程度の穴を開けます。
- ②換気穴を直径15〜20cm程度に大きくします。
- ③すべての間隔に直径15〜20cm程度の穴を開けます。



◆トンネルの除去について

オクラを外気に慣らしながら、5月上旬の風のない日に行ってください。強い風により、株が倒伏する恐れがありますので注意してください。



南国営農経済センター 営農指導課 内田 史保

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

コロナで出掛ける機会が少なくなり、家庭菜園、料理、散歩、等できることをしているうちに、逆に忙しく思っ今日この頃。JAの購買や良心市、直販所に行くことも増えました。こうぐりでいろいろと情報提供をお願いします。

(大杉支所・45歳)

▼コロナで外出自粛やイベント等も中止が多くなり残念です。これからも、地域の情報を発信していきますので、お楽しみに♪

私も事務職の合同をぬって、主人の農業手伝いをしています。私と同世代の女性为主体的に農業を経営されているというのが非常に興味深く、また励まされている気持ちになりました。

(三和支所・40歳)

▼最近若い女性の新規就農も増えてきました。JAとしても、新規就農者が増えることでたくさんの方の力をもらっています。今後も行政と一体となった支援策も活用しながらサポート体制を強化していきます。

支部の活動内容が分かりやすく、楽しく読んでいます。

(十市支所・70歳)

▼コロナ禍ではありますが、こんな時だからこそ、できる事があると思います。誌面を通して、様々な取り組みや活動を発信していけるように努めます。

これからの農業の発展を図る意味でも、女性の力は必要である。掲載された女性の方はみんな、輝いていました。今後は楽しみです。

(長岡支所・70歳)

▼地域で活躍している女性農業者さんに「頑張っほしい」「応援している」など、多くのお便りをいただきました。女性目線での新たな気づきによって、地域農業を盛り上げていってほしいと思います。私も色々なことにチャレンジしていきたいです。

1月号は、とても華やかな新号として素晴らしかったです。今年も頑張ろうと感じました。表紙の千両見事でした！普段利用しているヤ・シバークのメロンスムージーの生産者の記事を読んで、親近感を感じるとともに、よりファンになりました。

(大川支所・36歳)

▼千両は正月飾りに映えますよね。生産者と消費者の顔の見える関係・信頼関係を築くことで産地の発展に繋がっています。今後も顔の見える販売に取組み、応援していきたいです。

子どもさんの絵や作文ほっこりしました。ご飯を通しておじいちゃんやひばあちゃんへの温かい思いや、ご飯はオリソピック選手からお年寄りまでみんなの救世主という考えも素晴らしいですね。

(岡豊支所・61歳)

▼お米は私たちにとっては主食であり、命の源です。子どもたちの素直な気付きや思い、発想は素晴らしいですね。改めて食の大切さやありがたみについて考えさせられました。

家の光協会 新刊図書のご案内



●『知識ゼロからの有機・無農薬の家庭菜園』

本多勝治 著
定価：1,760円（税込）

菜園愛好家の著者が、人気野菜60種類を中心に有機・無農薬の栽培法とテクニックを伝授。「落ち葉堆肥」など身近な廃材や不用品を活用したお金をかけないアイデアも満載。



●『はじめてのスープ弁当』

市瀬悦子 著
定価：1,320円（税込）

忙しい人、料理初心者でも無理なく作れる！特別な調味料は不要。朝10分で作れる野菜たっぷりなスープジャー弁当を紹介。素材の下処理や切り方、調理のポイントを丁寧に解説。メイン食材別だから選びやすい。



●『頑張りすぎる人のための疲れない習慣 朝・昼・晩のケアと眠り方』

上符正志 総監修
定価：1,430円（税込）

医師や管理栄養士など7名の専門家が、ストレスを軽減して疲れを対処・予防する生活習慣を朝昼晩の時間帯別に紹介。睡眠や食事のとり方のほかストレッチやツボ押しなど手軽なセルフケアで誰でも実践できる。



●『はじめての和菓子レッスン 決定版』

金塚晴子・宇佐美桂子 著
定価：1,650円（税込）

おいしい和菓子が自分で作れる！生地作りは電子レンジを使用。プロセスは写真つきで丁寧に紹介しているから、初めての人でも失敗しない。どら焼き、白玉、桜もちなど定番はもちろん、アレンジ和菓子も満載。

ご注文はお近くの支所または、南国営農経済センター組合員課までお願いいたします。(TEL：088-863-2416)